

独立行政法人 日本芸術文化振興会

第18回 契約監視委員会 議事要旨

開催年月日	平成29年12月5日(火)
委員名簿 (敬称略)	伊田 若江(弁護士) 枝川 明敬(東京藝術大学教授) 笹川 隆司(独立行政法人日本芸術文化振興会監事)※委員長 藤川裕紀子(独立行政法人日本芸術文化振興会監事)※委員長代理
議事次第	1.委員長の選出及び委員長代理の指名について 2.平成29年度調達等合理化計画における進捗状況について 3.連続一者応札・応募等事案フォローアップ(平成29年度分)について 4.その他
審議点検対象	連続して一者応札・応募等となった案件 ※一者応札・応募等事案フォローアップ票による
総括	(1)審議方法概要と結果 平成29年度の調達と前回の調達が連続一者応札・応募等事案となった全5件について、「一者応札・応募等事案フォローアップ票」に基づき、所管課の説明を受け、点検審議を行った。 該当事案の中には、フォローアップとして業者から聴き取り調査を行った結果を踏まえて講ずることとした措置によって、適切な契約方式に改善されることが見込まれた事例があったほか、今後の調達に向けて具体的な改善策が提案され、より競争性のある契約へ繋がるのが期待できるものがあった。 今後も引き続き、事案ごとに調達内容を検討し、適正な契約方式を選定すべく努めるよう期待する。